

躍進の音

~If you can dream it, you can do it.~



木津川市立木津第二中学校

学校便り 4月号

令和8年4月14日

【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。



春の暖かな陽気とともに、いよいよ令和八年度がスタートいたしました。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。今年度新入生93名を迎え、全校生徒343名で今年度の教育活動をスタートしました。

入学式での呼名の際に返事をしている新入生の凛とした姿勢、新入生代表の力強い言葉から、

いよいよ始まる中学校生活への大きな期待と、がんばろうという意気込みがいっぱい伝わってきました。また、在校生代表の新入生歓迎の言葉からは、新たな仲間を迎え、みんなで素晴らしい学校生活を築いていこうという温かい思いが伝わりました。



一学期の始業式で二・三年生に向けて話をしました『**凡事徹底**』という言葉についてです。「誰にでもできることを、誰もマネできないくらい一生懸命やる」という意味です。つまり、物事を成し遂げるには、当たり前なことを当たり前でできるか、徹底してできるかにかかっているということです。「誰にでもできること」を馬鹿にせず、徹底してやり抜いてみてください。その積み重ねは、いつか困難にぶつかった時、自分を支える「自信」という名の最強の武器になります。

松下電器（現パナソニック）の創業者である故松下幸之助氏は、取引先の企業を訪問された時、経営がうまくいっているかどうかを瞬時に見抜かれたというエピソードがあります。一つ目は従業員の挨拶、二つ目は整理整頓、三つ目はトイレの掃除です。挨拶を交わすことでコミュニケーションの輪が広がりますし、整理整頓をすることですがすがしい気持ちになります。また、トイレを美しくすることにより心が磨かれます。つまり、当たり前なことが当たり前でできているかで、店の経営がわかるというのです。

「元気な挨拶をする」「履物を揃える」「時間を守る」「掃除を丁寧にやる」。これらはどれも特別な才能がいない、誰にでもできることです。しかし、これらを毎日、どんな時も欠かさず続けることは、実は一番難しいことでもあります。地味で目立たない一歩の積み重ねこそが、確かな学力や豊かな心、そして周囲からの「信頼」へとつながります。「**凡事徹底**」を合言葉に、生徒一人ひとりが自分自身に誇りを持てる学校を目指してまいります。

凡事徹底



中庭の桜（4月上旬撮影）

子ども達にとって楽しい学校にするため、今年度も教職員一同日常の授業を大切に、一人ひとりの可能性を伸ばす教育をしていきたいと思います。笑顔と元気で、思いやりの心を持って子ども達をしっかり見守り、大切に育てていきます。

今後とも、保護者ならびに地域の皆様、木津第二中学校の子ども達の健やかな成長のため、これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。校長 齋藤 昌宏